

この度、『診療所のための医業承継(第三者承継)のてびき』を製作し、発刊いたしました。

少子高齢化・人口減少社会を背景に、思うように後継者が見つからず、長年地域医療を担ってきた診療所や中小病院が消え、地域の医療提供体制の持続可能性が危ぶまれる事態が、全国各地で徐々に拡がりつつあります。

かかる事態の予防には、診療所や中小病院の経営者でもある「かかりつけ医」について、世代を超えて維持・支援してゆくことが重要ですが、そこでは、後継者難の診療所経営者とその志を受け継ぐ医師とをつなぐ仕組みづくりが必要になっています。

日本医師会総合政策研究機構（日医総研）の調査からは、以下のような現場の実情が浮かびあがりました（日医総研ワーキングペーパー No. 440 「医業承継実態調査」）。

- ① 譲渡希望者・譲受希望者とも、周りに話を聞ける経験者や相談者がいない。
- ② 何を参考にすればよいのか、どこから手を付ければよいのか分からない。
- ③ 専門家向けの文献はあるが、現場の医師向けの指南書が少ない。

以上を踏まえ、専門家（弁護士、税理士、社会保険労務士）の執筆協力を得て、この度、『診療所のための医業承継（第三者承継）のてびき』を企画製作し、発刊いたしました。

当書の特徴：

- ・診療所の承継に焦点を当てたが、中小病院の承継にも十分応用可能。
- ・事業譲渡希望者と譲受希望者 双方の立場の必要知識を網羅。
- ・図表の活用。専門用語集付き、平易でわかりやすい解説。
- ・第三者承継の成功・失敗の事例集を掲載。
- ・承継のプロセスごとに参照可能なQ&A方式で構成。

当書の購入をご希望の場合は、下記URLをクリック下さい。購入サイト（外部販売会社のサイト）に進むことができます。

または、販売会社（(株)東京法規出版：TEL 03-5977-0300）へ直接ご連絡下さい。

購入サイト⇒ <https://www.tkhs.co.jp/book/detail.html?id=226509&itemid=226509>